



第16-46号

2016年10月20日

エクス

「特急ロマンスカー・EXE(30000形)」をリニューアル ～EXEは、「EXE α 」へ進化します～

小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区 社長：山木 利満）では、「特急ロマンスカー・EXE（30000形）」をリニューアルし、2017年3月（予定）から営業運転します。

特急ロマンスカー・EXE（30000形）は、就役から20年が経過し、高齢化の進展や訪日外国人旅行者の増加など社会が変化するなか、多様化するお客さまのニーズに合致した車両サービスを提供するため全面リニューアルし、愛称についても、「EXE α （エクス アルファ）」に変更します。

なお、岡部憲明^{のりあき}アーキテクチャーネットワークが、特急ロマンスカー・VSE（50000形）、MSE（60000形）に引き続き、新型特急ロマンスカー70000形とともに、デザイン設計をいたします。

■快適性・利便性

室内デザインは気品と落ち着きのある空間とするため、木目調の内装と直接・間接照明を組み合わせた光の演出等により、お寛ぎいただける空間を創出します。また、訪日外国人旅行者への対応として荷物収納スペースを設置するほか、多様なお客さまに対応するトイレを導入します。

■安心・安全面

車内の安全を確保するために、乗務員がリアルタイムに車内の様子を確認できる防犯カメラを搭載します。また、バリアフリー対応として、点字の設置や車いすご使用のお客さまのスペースを設けます。

■環境面

通勤車両1000形に採用し、約4割の電力量削減を実証したフルSiC適用VVVF制御装置を、特急車両として初めて採用し、省エネルギー化を図ります。また、主電動機を全密閉式とすることで低騒音化するなど、環境面に配慮します。



外観（イメージ）



車内（イメージ）

「特急ロマンスカー・EXEα（30000形）」リニューアルの概要は、下記のとおりです。

記

1. 営業運転開始 2017年3月（予定）
2. 対象車両 2016年度は1編成10両（4両+6両）をリニューアル
3. 編成定員 578名（全席指定）
4. 主な特徴
 - （1）快適性・利便性の向上
 - ① 室内デザイン
天井面を明るい仕上げ材に変更し、間接・直接を組み合わせた照明にするとともに、壁面には木質系の仕上げを用い、落ち着いたビジネス空間と心地よい豊かさをもつ観光車両の空間を共に演出します。また、テーブルと肘掛を一新し、新たに手掛けやフック等を取付けるなど、寛ぎと快適性を高めます。
 - ② 多様なお客さまに対応するトイレ
和式トイレを廃止し、「ゆったりトイレ」の設置や温水洗浄機能付き便座「ウォシュレット」を搭載した洋式トイレへと変更します。
※「ウォシュレット」はTOTO株式会社の登録商標です
 - ③ 荷物収納スペース
訪日外国人旅行者への対応として大型収納スペース（ラゲージスペース）を新設します。
 - （2）安心・安全に資する変更点
 - ① 防犯カメラの設置
各車両出入口・客室内にカメラを新設し、乗務員室でリアルタイムに映像を確認できる機器を搭載します。
 - ② ユニバーサルデザイン
各車両の座席に点字案内の設置やドアチャイム、ドアランプを新設するとともに、車いすのお客さまに対応した設計を採用します。
 - ③ 多目的室の設置
授乳時や体調不良時等にご利用いただける多目的スペースを設置します。
 - （3）環境面への配慮
 - ① 省エネルギー化
高効率制御が可能なVVVF制御装置（フルS i C適用）を特急車両として初めて採用します。
 - ② 低騒音化
主電動機（モーター）を全密閉式とするほか、空調装置にも低騒音タイプの機器を搭載します。
5. 施工会社
日本車輛製造株式会社

※参考 <特急ロマンスカー・EXE30000形>1996年就役。10両編成を4両と6両に分割できる等多様な運行が可能であり、観光だけでなく、通勤やショッピングの足として利用されています。2012年12月には私鉄有料特急で初となる公衆無線LANサービスを導入、1996年度グッドデザイン賞、2007年度ロングライフデザイン賞をそれぞれ受賞しています。
なお、EXEとは「Excellent Express（素敵で優秀な特急列車）」から名付けられています。

以上